

令和4年度 学校評価 評価結果

松戸市立旭町中学校

1 学校評価アンケート集計結果

(1) 学校評価アンケート回答数

生徒アンケート回答数 255 (95.5%) 教職員 20
 保護者アンケート回答数 183 (68.5%) 地域の方 7

(2) 項目別アンケート結果(評価平均)

【評価】 4…そう思う 3…ややそう思う 2…あまり思わない 1…そう思わない

	評価項目	生徒	保護者	地域	教職員
1	学校は、一人ひとりを大切にし、生徒や保護者の願いに応えようとしている。	3.18	3.09	3.8	3.75
2	学校は、学校行事や部活動が盛んで、生徒は意欲的に取り組んでいる。	3.21	3.13	4.0	3.25
3	学校は、授業や行事の参観機会を設けたり、ホームページ更新や学校だよりを配布したりするなど、積極的に家庭や地域に情報発信をしている。	3.24	3.19	3.83	3.55
4	学校は、清掃が行き届き、掲示物などを含めた学習環境が整えられている。	3.23	3.14	3.83	3.25
5	学校は、生徒の安全や健康面に配慮し、生徒の安全安心な学校づくりをしている。	3.33	3.19	3.6	3.60
6	学校は、家庭学習の定着と充実に向けて、情報発信や適切な量の課題設定をしている。	3.14	2.87	3.33	3.30
7	学校は、生徒を自分の考えをしっかりと持ち、その考えを相手にわかりやすく伝えられる子どもに育てようとしている。	3.16	2.97	3.6	3.35
8	教職員は、授業のねらいを明確にし、わかりやすい授業をしている。	3.23	2.91	3.67	3.65
9	教職員は、個に応じた学力を把握し、適切な学習支援を行っている。	3.27	2.80	3.8	3.35
10	教職員は、生徒の主体的な学びを促し、学習意欲や学力を向上させている。	3.22	2.85	3.67	3.30
11	教職員は、ICT機器を活用し、生徒の情報活用能力の育成やICTを活用した学習活動の充実を図っている。	3.39	3.01	4.0	3.45

12	教職員は、生徒とよく関わり、学校生活すべてにおいて熱意を持って指導している。	3. 2 8	3. 0 0	3. 6	3. 5 5
13	教職員は、生徒の悩みや相談に応じて適切に指導している。	3. 1 8	2. 9 1	4. 0	3. 5 5
14	教職員は、思いやりや生命の尊重など心の教育を積極的に進めている。	3. 2 1	2. 9 7	4. 0	3. 5 0
15	教職員は、いじめや暴力など間違った行動に対してしっかりと指導している。	3. 3 3	3. 0 1	3. 5	3. 8 0
16	家庭では、しつけや基本的な生活習慣をしっかりと指導している。	3. 4 5	2. 9 9	3. 5	3. 0 5
17	家庭では、生活のけじめをつけ学習習慣が定着させられている。	3. 3 5	2. 6 7	3. 5	2. 7 9
18	家庭では、携帯電話などの使い方についての約束事やモラルをしっかりと指導できている。	3. 2 5	2. 8 8	3. 0	2. 6 8
19	旭町中に入学してよかったと思う。	3. 3 5	3. 2 8	4. 0	3. 3 3
20	「主体的に学習に取り組む力」が身に付いたと思うか。	3. 0 6	2. 6 3		2. 7 5
21	「課題を自ら見つけ、思考・表現し、解決する力」が身に付いたと思うか。	3. 0 7	2. 7 3		2. 8 5
22	「身に付けた知識や技能を活用する力」が身に付いたと思うか。	3. 1 8	2. 7 7		3. 0 0

2 学校評価 評価結果（まとめ）

(1) 学校運営に関して 【評価項目 1、2、3、4、5、6、12】

すべての評価項目において、「おおむね良好」と評価できる評価3点を上回り、学校運営全般は良好な状況であると判断できる。

ア 【項目1 学校満足度】については、概ね高いと判断できる。一方で、教職員の評価に対し、生徒、保護者の評価はやや低い結果となっている。生徒や保護者からの多様なニーズをしっかりと把握し、生徒一人ひとりの学校生活が充実したものとなるような学校運営を継続していく。

イ 【項目2 特別活動】については、学校行事や部活動の大会等、感染対策を講じて実施できることが増え、意欲的に取り組むことができたという評価となった。教師と生徒、生徒同士の関わりの中での経験や体験により「他者との協働」「達成感」を味わうことができたと考えられる。今後も生徒の主体的な活動の機会を確保できるよう、内容・方法を工夫していきたい。

ウ 【項目3 開かれた学校】については、全ての評価者から3.1以上の高い評価となった。コロナ禍前よりは、回数は少ないながらも授業参観や合唱コンクールなど、保護者の方々に生徒の様子をみていただく機会が昨年度より増えた。今後も感染状況を踏まえながら、より保護者・地域に「開かれた学校づくり」を目指していく。

エ 【項目4 学校環境】については、学校経営4本柱の一つである「真剣清掃」が成果をあげていると考えられる。ボランティア活動として花壇の整備、学校周辺道路や校庭の落ち葉掃きなどを行ってきた。学校全体で落ち着いた学習環境を整備できるように引き続き取り組んでいく。

オ 【項目5 安心・安全】については、生徒、教職員の評価で3.3を越え、ガイドラインに沿った感染拡大防止対策や安全管理の取り組みが評価されたものと捉えることができる。安心・安全な学校づくりは、学校運営において最も優先されるべき事項である。生徒の安全意識を高めながら、引き続き継続していきたい。

カ 【項目12 生徒と教職員の関わり】については、概ね高いと判断できる。一方で、教職員の評価に対し、保護者の評価はやや低い結果となっている。全ての教職員が生徒一人ひとりの良さや可能性を最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴奏者となれるよう謙虚な姿勢で指導していく。

(2) 学習指導に関して 【評価項目6、7、8、9、10、11、20、21、22、】

学習指導・学習成果に関する評価項目において、生徒及び教職員の評価は高かったものの、保護者の評価は低い。個別最適な学び、協働的な学びの実現に向けた授業力の向上と保護者との情報共有及び協力体制の構築が課題である。

ア 【項目6 家庭学習】については、数学の「マイマス」や各教科からの課題が長期休みにも出されているが、計画的な学習が難しい生徒も見られる。新学習指導要領では、「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指す資質・能力の一つとして示した。学習内容の定着だけでなく、自ら課題を見つけ、解決する学習や粘り強く取り組む姿勢が持てるよう、学校全体で支援していく。

イ 【項目7 言語活用科の取り組み】については、生徒、教職員が3.0以上と軒並み成果をあげていると言える。今年度、全ての教科にわたって「アウトプット」することを重点的に指導してきた。「自分の意見をわかりやすく伝えることができる」「相手の伝えようとしていることを理解することができる」生徒の育成を引き続き目指していく。

ウ 【項目8、9、10 授業】については、生徒、教職員の評価で3.0を越え、概ね良好な評価を得られた。今年度は、3年生数学の習熟度別授業、全学年の数学T.T授業、英語のT.T授業など個に応じた指導の充実を図ってきた。生徒の「わかった できた」という学習意欲の向上と必要に応じた重点的な指導や教材の工夫を行えるよう、教員の授業力アップを推進させていきたい。

エ 【項目11 ICT活用状況】については、本校の研究課題でもあり、日々研修を重ねていることから高い評価となった。「一人一台タブレット」「デジタル教科書」の使った授業は、日常的になっている。情報活用能力の育成や情報モラル教育は、さらに推進させていく。

オ 【項目20 主体的に学習に取り組む力】【項目21 課題を自らみつけ、思考・表現し解決する力】【項目22 身に付けた知識や技能を活用する力】については、新学習指導要領が掲げる目標であり、これからの社会を生き抜く生徒に必要な力である。生徒は全て3.0を越えた評価である一方、保護者、教職員は3.0を下回っている。「個別最適な学び」と「協働的な学び」実現させるために教職員の研修を充実させていく。目先の結果だけにとらわれずに、自発的な学習や粘り強く努力する姿勢の重要性を保護者と

(3) 生徒指導に関して 【評価項目13、14、15】

生徒指導に関する評価項目において、生徒の評価は概ね良好だと判断できる。何より生徒が安心して学校生活を送ることができるように、丁寧な指導を継続していく。

ア 【項目13 教育相談】については、生徒、教職員の評価で3.0を越え、概ね良好な評価を得られた。コロナ禍の影響で学校生活が様々な制約を受ける中で、学習や交友関係に悩みを抱える生徒も見られる。スクールカウンセラーも含め全教職員で相談できる体制を継続させていく。

イ 【項目14 心の教育】については、1学期に「SDGsを学ぼう～ジェンダーについて～」というテーマで講師を招いた全校道徳を実施した。道徳は学年体制で授業を実施したり、ICT活用で考えを深めている。生徒の全人的な発達・成長のために、今後も学校生活すべてにおいて心の教育を行って行きたい。

ウ 【項目15 いじめへの対応】については、一定の評価が得られたと判断できる。日常の観察を丁寧に行い未然防止に努めるとともに、「WEBQU」や「学校生活アンケート」で積極的な認知を行ってきた。保護者の理解と協力を得ながら、全教職員で組織的に対応することを継続させていく。

(4) その他 家庭での生活に関して【項目16 17 18】

家庭での生活に関しての評価項目において、生徒の評価は3.2以上と高い結果となった一方で保護者・教職員の評価は低かった。「学習習慣の定着」「携帯電話の使い方」が課題であり、学校と保護者が足並みを揃えて取り組んでいくことが大切である。生徒自身が自分の行動を客観的に見つけ、責任を持っていくことができるよう粘り強く指導していきたい。

3 成果と課題（学校評価のまとめ）

学校評価の結果から、今年度本校の学校教育活動の成果と課題は以下のようにまとめられる。

(1) 成果（生徒・保護者が共に3. 1以上の項目）

- ア 学校は、学校行事や部活動が盛んで、生徒は意欲的に取り組んでいる。
- イ 学校は、授業や行事の参観機会を設けたり、ホームページ更新や学校だよりを配布したりするなど、積極的に家庭や地域に情報発信をしている。
- ウ 学校は、清掃が行き届き、掲示物などを含めた学習環境が整えられている。
- エ 学校は、生徒の安全や健康面に配慮し、生徒の安全安心な学校づくりをしている。
- オ 旭町中に入学してよかったと思う。

(2) 課題（生徒・保護者のどちらかが2. 8以下の項目）

- ア 教職員は、個に応じた学力を把握し、適切な学習支援を行っている。
- イ 「主体的に学習に取り組む力」が身に付いたと思うか。
- ウ 「課題を自ら見つけ、思考・表現し、解決する力」が身に付いたと思うか。
- エ 「身に付けた知識や技能を活用する力」が身に付いたと思うか。
- オ※家庭では、生活のけじめをつけ学習習慣が定着させられている。

(3) 来年度に向けて

今年度は、アンケートの集計結果を点数化し、生徒・保護者・地域・教職員がどのように評価しているかがわかりやすくなるようにした。新型コロナウイルス感染症による意識や生活の変化、子供たちの教育のあり方や学び方への変化などを認識するためである。

学校全体では、生徒が行事や部活動に意欲的に取り組み、前向きな学校生活を送っていると言える。コロナ禍3年目を向かえ、少しずつ制限が緩和されてきたが、より一層保護者・地域との連携をしながら教育活動を進めていきたい。また、課題としてあげられる「学力」に関しては、新学習指導要領が目指す資質・能力を育むことができるよう授業力向上に継続して取り組んでいく。重点としている「情報活用能力」は、ICTの活用だけに止まらず「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、研修に努めていきたい。

最後に、本校は「青少年健全育成会」をはじめ、地域・保護者の多くの方々に支えられ学校運営を行うことができました。励ましのお言葉や温かい声援をいただきましたことを心より感謝申し上げます。アンケート結果とお寄せいただいたご意見を参考に、現状に甘んじることなく信頼される学校づくりに努めてまいります。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。